

# 6. 人々の健康の維持、増進を通じた社会貢献

1.適切な情報リテラシーのもと、保健・医療・福祉・介護などの国民の健康に係わる情報を積極的に収集できる。

A

選択クリニカル  
クラークシップ  
(CC)

クリニカル  
クラークシップ  
(CC)

B

医学実地演習  
Ⅲ

C

SGL(臨床科目)

後期研究配属

SGL(基礎科目)

衛生学・公衆衛生学

医学実地演習  
Ⅱ

医学実地演習  
Ⅰ

D

		臨床病態学	社会医学		薬理学		
	統合臨床						
救急と生体管理	産婦人科学	運動・感覚	小児・思春期医学				
頭頸部・耳鼻咽喉科学	眼科	皮膚科学	形成・再建・再生			基礎科学)ユニット⑤ 福祉社会論	人文社会科学)ユニット②-4 医療人類学/老年学
精神医学	麻酔・集中管理・疼痛制御					数学)ユニット② コンピュータリテラシー	人文社会科学)ユニット②-2 社会学
循環器	消化器	呼吸器・感染・腫瘍・乳腺	神経・リハビリ				
放射線医学	内分泌・代謝・栄養	アレルギー・膠原病・免疫	血液・造血器			人文社会科学)ユニット②-3 法学	人文社会科学)ユニット②-4 医療人類学/老年学
腎・泌尿器		臨床医学総論					

E

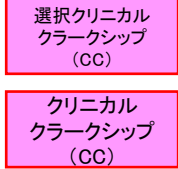
基本臨床実習		研究配属	行動科学Ⅲ	法医学		
	臨床医学への基礎医学的アプローチ					
		特別プログラム(1年)	行動科学Ⅳ		基礎科学)ユニット① 医療心理学	基礎科学)ユニット② 統計学
		医学入門)ユニット① 医学教育カリキュラム総論			基礎科学)ユニット④ 行動科学Ⅱ	基礎科学)ユニット⑥ 運動生理学
		医学入門)ユニット② 行動科学Ⅰ			スポーツ科学	
		医学入門)ユニット③ 医学入門			人文社会科学)ユニット① 生命倫理学/心理学	人文社会科学)ユニット②-1 哲学

【評価方法の概略】 詳細は各科目のシラバスに記す。  
 レベルD:客観試験、論述試験の項目に加味されている。提出レポートによる評価も行われる。  
 レベルC:医学実地演習において、指導者による観察記録、ならびに提出レポートの中で行われる。後期臨床配属では提出レポートの中で行われる。基礎医学SGL(社会医学系課題)、臨床科目SGLにおいてはTutorによる観察記録で評価が行われる。衛生学・公衆衛生学では実習の観察記録、レポートが加味される。  
 レベルB:医学実地演習Ⅲにおいてはe-Learningの受講(小テスト含む)とレポートにより評価が行われる。  
 レベルA:クリニカル・クラークシップにおいては指導医の観察記録、症例レポートにより評価により行われる。

# 6. 人々の健康の維持、増進を通じた社会貢献

2.健康に関する種々の法律、規則、社会医療制度の仕組みを理解し説明できる。

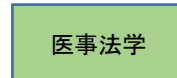
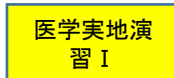
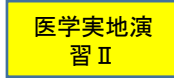
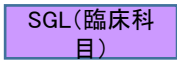
A



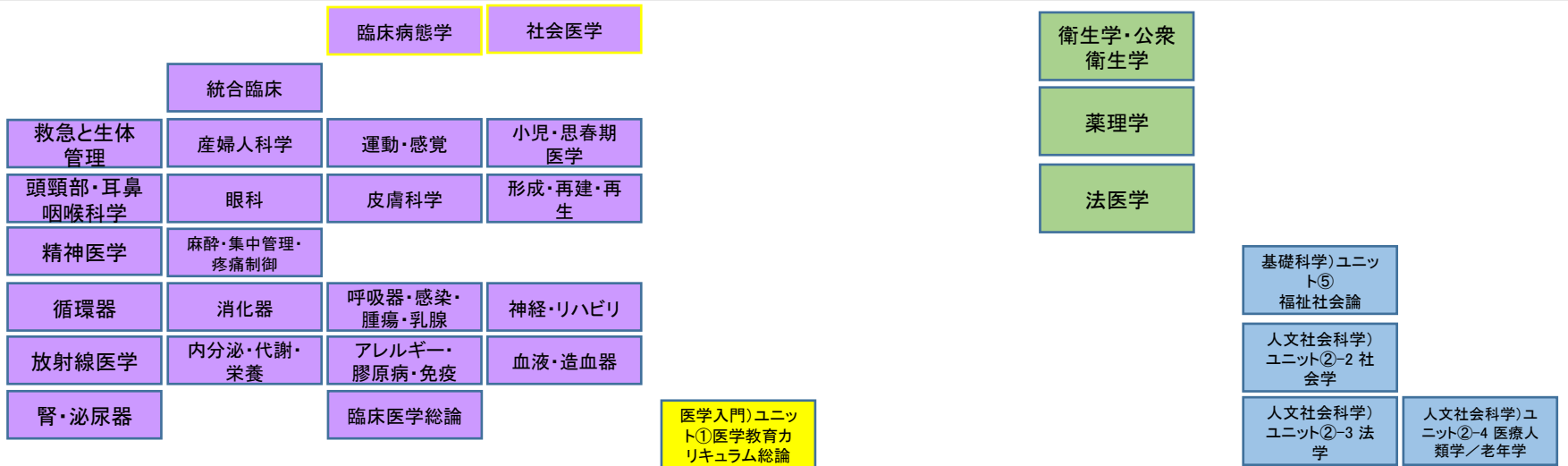
B



C



D



E



【評価方法の概略】 詳細は各科目のシラバスに記す。

レベルD: 客観試験、論述試験の項目に加味されている。提出レポートによる評価も行われる。

レベルC: 医学実地演習において、指導者による観察記録、ならびに提出レポートの中で行われる。

臨床科目SGLにおいてはTutorによる観察記録で評価が行われる。医事法学は科目の特性により、客観試験、論述試験に加え外部講師の授業聴講態度などを加味し、総合的に評価が行われる。

レベルB: 医学実地演習IIIにおいては指導者の観察記録、e-Learningの受講(小テスト含む)とレポートにより評価が行われる。

レベルA: クリニカル・クラークシップにおいては指導医の観察記録、症例レポートにより評価により行われる。

# 6. 人々の健康の維持、増進を通じた社会貢献

3.健康維持・増進のための課題を認識し、法規・制度を遵守しながらそれらの解決策を想起できる。

A

- 選択クリニカル  
クラークシップ  
(CC)
- クリニカル  
クラークシップ  
(CC)

B

医学実地演  
習Ⅲ

C

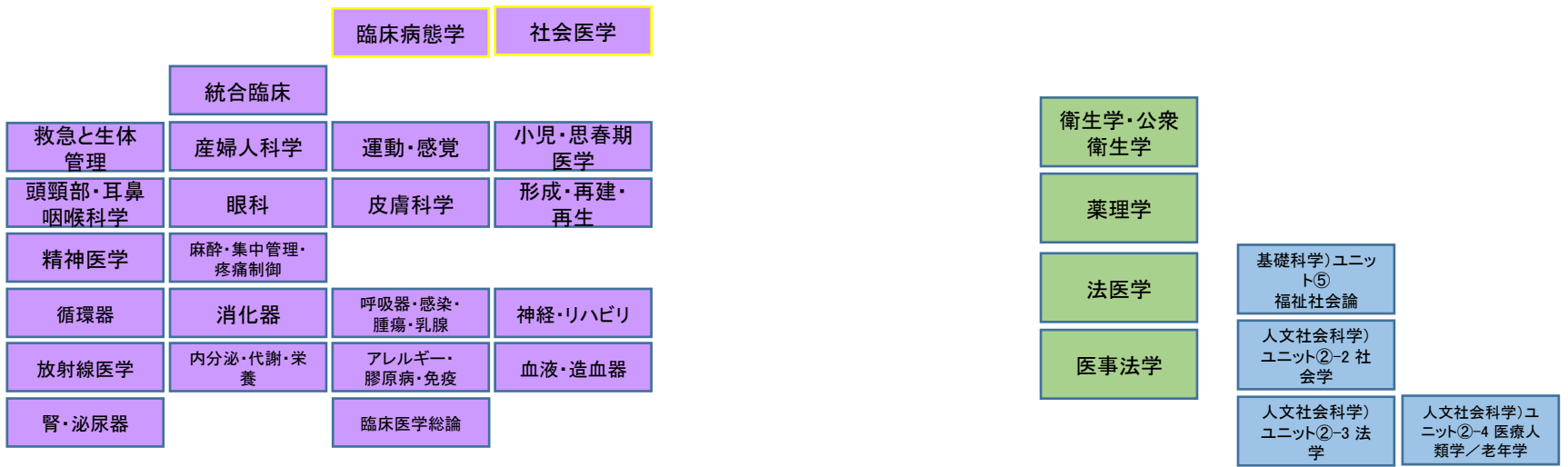
SGL(臨床科  
目)

SGL(基礎科  
目)

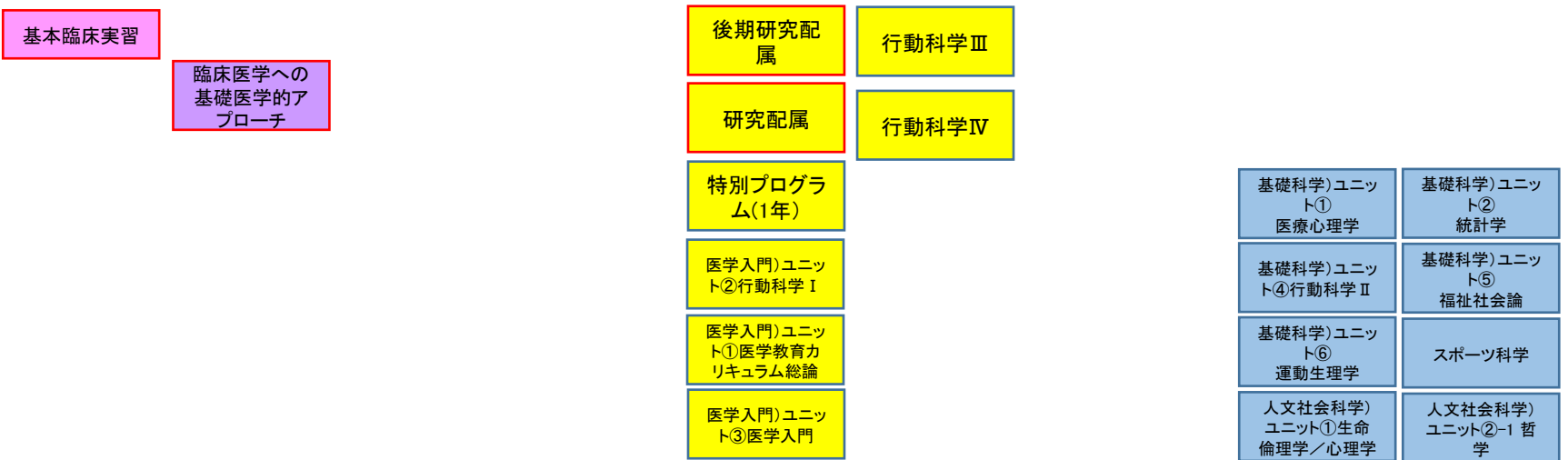
医学実地演  
習Ⅱ

医学実地演  
習Ⅰ

D



E



【評価方法の概略】 詳細は各科目のシラバスに記す。

レベルD: 客観試験、論述試験の項目に加味されている。提出レポートによる評価も行われる。

レベルC: 医学実地演習において、指導者による観察記録、ならびに提出レポートの中で行われる。基礎医学SGL(社会医学系課題)、臨床科目SGLにお  
いてはTutorによる観察記録で評価が行われる。

レベルB: 医学実地演習Ⅲにおいてはe-Learningの受講(小テスト含む)とレポートにより評価が行われる。

レベルA: クリニカル・クラークシップにおいては指導医の観察記録、症例レポートにより評価により行われる。

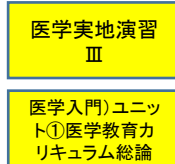
# 6. 人々の健康の維持、増進を通じた社会貢献

4. 地域医療におけるプライマリケア、介護・福祉、予防医学活動、災害医療に参画し、自らの行動を社会貢献に反映できる

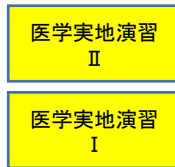
A



B



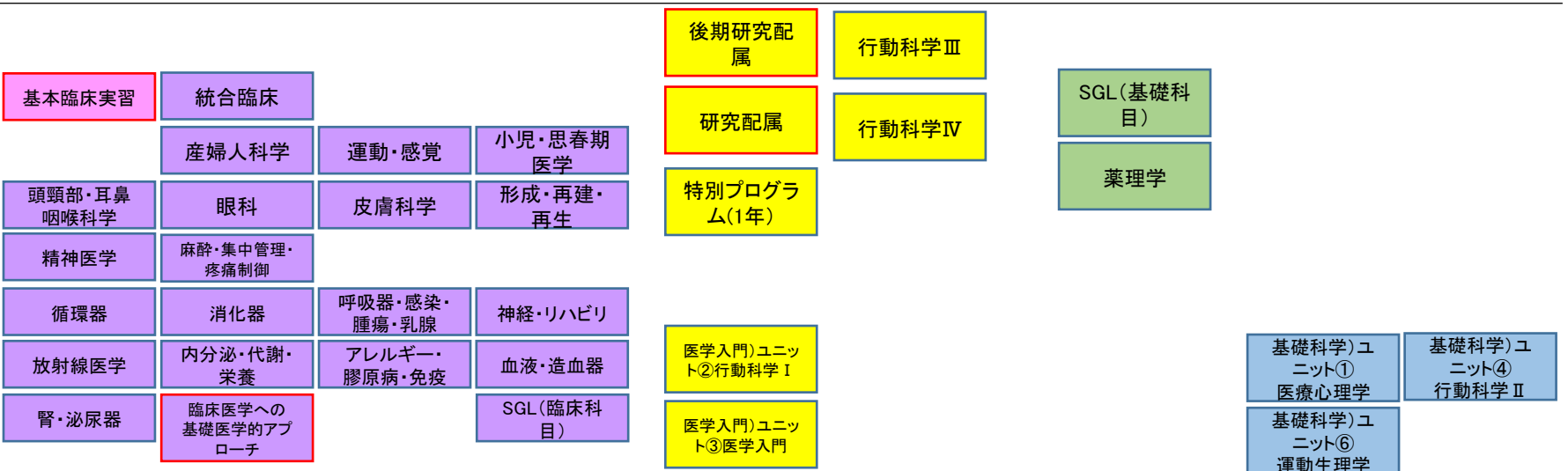
C



D



E



【評価方法の概略】 詳細は各科目のシラバスに記す。

レベルD: 客観試験、論述試験の項目に加味され、基盤となる知識の評価が行われる。提出レポートによる評価も行われる。

レベルC: 医学実地演習において、指導者による観察記録、ならびに提出レポートの中で行われる。

レベルB: 医学実地演習IIIにおいてはe-Learningの受講(小テスト含む)とレポートにより評価が行われる。

医学入門①については出席のみによる評価となるが、BLS実習については欠席の場合は再実習を課す。

レベルA: クリニカル・クラークシップにおいては指導医の観察記録、症例レポートにより評価により行われる。